

閉会挨拶



一般社団法人 J A 共済総合研究所 専務理事

有長 光司

オンラインで開催いたしました J A 共済総研セミナーに、長時間にわたりご参加いただき、ありがとうございます。セミナーの閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、J A 共済総研セミナーに全国各地からご参加いただいた、多くの皆様にお礼を申し上げます。

ご多用のなか、ご来場、ご挨拶、ご報告いただきました厚生労働省の大島政策統括官様、笹子課長様、そして農林水産省の荻野課長様にお

農業を支援し、収入を得るといった、様々な効果を知られることを知ることができました。

また、これらの取組みにおいて、市町村、地方自治体、社会福祉協議会、NPO など色々な組織が大きな役割を持っており、高齢の方々が行えない部分をサポートする形を作ることによって、この取組みが実現できているということを知ることができました。

今後、高齢者は一層増加していくことが見込まれるなかで、高齢の方々が農業活動によって土に親しむことにより、様々な効果を得、最後まで自分らしく生きていくことができる、高齢者の農福連携にはそういった可能性があると思いますし、それが可能であると考えております。

J A グループにおきましては、様々な組織と連携し、地域に貢献していくこととしておりますが、高齢者の農福連携はその一つとして、大

礼を申し上げます。

また、遠路ご来場で事例報告をいただきました、細川様、石神様、矢野様に心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

今回のセミナーは「高齢者の農福連携による新たな可能性を求めて」をテーマに開催いたしました。報告を通して高齢の方々が、農業活動を通じて、健康づくりのみならず、生きがいづくり、社会関係の広がり、そしてまた、地域

きな期待が持てるのではないかとというふうに思っております。

最後に、本日セミナーにご参加いただきました皆様に、改めてお礼を申しあげまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。